

世界遺産登録1周年を記念したイベントの予定は

市長／現在、具体的な取り組みの検討を進めている。



中村 哲 康 議員

世界遺産について

議員 ゴールデンウィーク期間中の集客数は。

地域振興部長 原城跡への来訪者数は10日間で3,598人、また、有馬キリシタン遺産記念館においては1,275人の入館があつている。

議員 これだけの数の集客ができていのに、地元へ経済効果が波及していない。地域経済活性化のために、しっかりとした対応を。

市長 原城跡には、現在、たくさんの方の観光客の皆さん

ま方にお越しいただいており、この機運を逃がさないように、さまざまな取り組みを行っていく必要があると考えている。特に、世界遺産関連施設の整備については、本当に急務だと考えており、現在、建設に向けて懸命に取り組んでいるところである。



原 城 跡

高齢者の免許証の返納について

議員 高齢者の交通事故が全国的に多発している。南島原市の今年4月末の統計では、75歳以上の免許保有者数は3,228人で、免許保有者数全体の3万160人に対する割合は10%を超えており、

非常に高い水準にある。免許証の返納にご協力いただくために、本市ではどのような取り組みが行われているのか。

福祉保健部長 平成29年度から、免許証を自主返納され、取り消し通知書と運転経歴証明書を交付された方に対して、1回限りだが、年間2万4千円分の利用券を交付している。また、75歳以上の高齢者で、自ら運転しない方に対しては、また本年度から2千円増額し、年間1万4千円分の利用券を交付している。

農業振興について

議員 基盤整備の推進を図るために国や県、その他関係機関に条件を緩和するように働きかけはできないのか。

農林水産部長 本市の農地の状況が、国の想定している状況よりも厳しいため、なかなか条件をクリアできない。国に地元の状態を説明し、県とも協力して働きかけていく。



鮎帰りの滝はなぜ通行止めに

市長／滝つぼへの通路が1部崩落のため。



中村 久 幸 議員

学校給食センターの建設について

議員 前回、「現在ある給食センターのうち、まだ新しい深江町と口之津町の給食センターを残して、新給食センターでそれを適正規模で建設しておけば、配送や食材確保の問題も解決するのではないか」と提案し、見直しをお願いしたところ、市長、副市長、教育長、3人とも、見直すことと答弁された。見直しの進捗状況は。

市長 これまで、議員の皆さん方からの意見等も踏まえて、総合的に最終的な判断をしなければと考えている。

議員 最終的には、深江と口之津を残した3カ所で行くのか。今のまま、1カ所で行くのか、2つに1つになると思うが。

教育長 経費、またスムーズな移行措置等、プロの方もしくは都市計画課も入って資料を作り、皆様に見てもらい、判断することになると考えており、現在、精力的に精査をしている。

議員 3,800食から何年後には何食ぐらい減るのか、食材の納入関係や、深江と加津佐までのトラック配送等も考慮して判断していただきたい。

鮎帰りの滝について

議員 鮎帰りの滝を遠路見に来られる方々もおられるのに、1年余り前から滝つぼへの通路が柵で閉鎖されている。名所マップに記載をされているので楽しみに来たのに、見ることができず、がっかりして帰られていることを聞く。なぜ1年余りもそのままにしているのか。

市長 この鮎帰りの滝は南島原市の重要な景勝地の1つであり、毎年多くの観光客が訪れる場所であるが、一昨年の大雨で滝つぼへの通路が、一部崩落していることから、観光客の安全を確保するために、所有者において封鎖をされ、滝つぼへは通行止め状態である。現在、封鎖の解除と新たな活用を含め、所有者と協議を重ねている。市としても何とかご理解をいただこうと強く思っており、今後も働きかけをしていく予定である。



鮎 帰 り の 滝

